



「子どもの頃は、小さいくりりの中で野球がうまいか思っていたんですが、もっと自信を持ってよかったんじゃないかと思いました」

市長 大谷選手は2016シーズン、日本シリーズ優勝や日本プロスポーツ大賞受賞、投手と指名打者の2部門でベストナインに選ばれたなど大活躍の1年でしたが、この1年を振り返ってみての感想などをお聞かせください。

大谷 チームとして最高の形で終わることができて、満足しています。ただ、個人的に賞をもらった割にはチームに貢献できたとは言えなかったです。投げているインニングもそうですし、バッティングもそうですし…。期待されていることには応えられませんでした。来年は自分がやりきったと思えるぐらいの活躍ができればと思います。

市長 われわれから見ると、大谷選手は期待以上の活躍だったと思います。ご自身が目指しているところはもっと上になるのでしょうか。

大谷 シーズン最後の方は良かったのですが、最初は勝てなかったですし、中盤はけがで投げることができませんでした。そういうところがシーズンフル回転ではなかったなと。そこに悔しさというか、やりきれなさがあります。

市長 メジャーについてのうわさも聞かれますが、どのようにお考えでしょうか。

大谷 メジャーは憧れであるし目標でもあります。そこを目指してきたかと言えば、そういうわけではないです。いつかは挑戦したいという思いはあるので、目指すべき場所かなとは思っています。

市長 大谷選手がメジャーで活躍する姿は見たいた気持ちはありますが、日本から離れるのは寂しい気もします。複雑な感じですね(笑)。大谷選手の活躍で花巻市も大変な盛り上がりを見せました。大谷選

12月22日、花巻東高校創立60周年を祝し、総合体育館で記念事業が開かれました。市は、その中で北海道日本ハムファイターズの大谷翔平さんに「花巻市スポーツ栄光特別賞」を贈呈。さらに、同記念事業のために本市を訪れた大谷さんのご好意により、市長との特別対談が行われました。(本文中は敬称略)



手は高校時代、花巻で過ごされたわけですが、花巻について印象に残っていることはありますか。

大谷 ほとんど花巻東高校の敷地内で生活していたので、近くのスーパーと、近くのコンビニと(笑)。買い物に行くといったらそれぐらいだったので、花巻について、住んでいた割には知らないことがたくさんあるんじゃないかと思っています。

市長 大谷選手や菊池雄星投手の活躍で花巻が有名になってありがたいと思っています。練習の時の思い出はありますか。

大谷 きつい練習がとにかく多かったです。初めて家を離れての寮生活で不安でしたが、先輩や同級生のおかげで楽しい3年間でした。

市長 花巻にも大谷選手のような素晴らしい野球選手になることや、野球だけではなくさまざまな目標を持って一生懸命物事に取り組んでいる子どもが大勢います。ぜひ子どもたちへメッセージをお願いします。

北海道日本ハムファイターズ  
大谷 翔平さん



# 対談

花巻市長  
上田 東一

